



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 大同工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6373 URL <https://www.did-daido.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 執行役員 CEO （氏名）新家 啓史

問合せ先責任者 （役職名）上席執行役員 経営戦略本部長 （氏名）野口 賢信 TEL 0761-72-1234

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	29,193	1.6	892	17.6	877	4.6	446	△17.7
2025年3月期中間期	28,726	3.7	759	—	839	79.8	542	47.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 759百万円（－％） 2025年3月期中間期 △96百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	44.02	—
2025年3月期中間期	52.73	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	78,728	37,205	40.1	3,109.54
2025年3月期	77,803	36,787	39.5	3,030.34

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 31,548百万円 2025年3月期 30,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は2025年5月14日開催の取締役会において、株式会社樺本チエインを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（効力発生日：2026年1月1日）を行うことを決議し、2025年6月24日開催の第132期定時株主総会において承認されました。これにより、当社株式は2025年12月29日をもって上場廃止（最終売買日は2025年12月26日）になる予定であるため、2026年3月期の配当予想の発表を控えさせていただきます。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は2025年5月14日開催の取締役会において、株式会社樺本チエインを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（効力発生日：2026年1月1日）を行うことを決議し、2025年6月24日開催の第132期定時株主総会において承認されました。これにより、当社株式は2025年12月29日をもって上場廃止（最終売買日は2025年12月26日）になる予定であるため、2026年3月期の業績予想の発表を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	10,924,201株	2025年3月期	10,924,201株
2026年3月期中間期	778,501株	2025年3月期	785,649株
2026年3月期中間期	10,141,615株	2025年3月期中間期	10,291,357株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は2025年5月14日開催の取締役会において、株式会社椿本チエインを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（効力発生日：2026年1月1日）を行うことを決議し、2025年6月24日開催の第132期定時株主総会において承認されました。これにより、当社株式は2025年12月29日をもって上場廃止（最終売買日は2025年12月26日）になる予定であるため、2026年3月期の業績予想の発表を控えさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調となりました。一方で、物価や人件費の高騰、原材料・エネルギー価格の高止まり、欧米の景気減速や中国経済の回復鈍化、中東・ウクライナ情勢の長期化などにより、依然として先行き是不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は29,193百万円（前年同中間期比1.6%増）、営業利益は892百万円（前年同中間期比17.6%増）、経常利益は877百万円（前年同中間期比4.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は446百万円（前年同中間期比17.7%減）となりました。

なお、株式会社椿本チエインを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換実施に向けての関連手続に際し発生したファイナンシャル・アドバイザーおよびリーガル・アドバイザーなどに支払う報酬等454百万円を特別損失（経営統合関連費用）に計上しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の地域を基礎としたセグメントから事業を基礎としたセグメントに変更しており、以下の前年同中間期比較については、前年同中間期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①二輪部品事業

外部顧客への売上高は15,853百万円（前年同中間期比4.8%増）、営業利益は1,234百万円（前年同中間期比24.4%増）となりました。日本および中国での完成車メーカー向け販売が好調に推移したほか、前期から継続してコスト上昇分の価格転嫁を進めたことにより、売上・利益ともに前年同中間期を上回りました。

②自動車部品事業

外部顧客への売上高は2,536百万円（前年同中間期比8.0%減）、営業損失は164百万円（前年同中間期は108百万円の営業利益）となりました。日本および中国での自動車メーカー向け受注が低調であったことや、コスト上昇分の価格転嫁が遅れたこともあり、売上高は前年同中間期を下回り、営業損失に転じました。

③産機事業

外部顧客への売上高は6,548百万円（前年同中間期比4.9%減）、営業損失は319百万円（前年同中間期は242百万円の営業損失）となりました。タイでの搬送関連設備の受注が低調であったことにより、売上・利益ともに前年同中間期を下回りました。

④その他

外部顧客への売上高は4,255百万円（前年同中間期比7.6%増）、営業利益は159百万円（前年同中間期は65百万円の営業損失）となりました。ハンズフリーモビリティ「UNI-ONE」の生産開始や、自動車メーカー向け輸出関連の鋼材加工の受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同中間期を上回り、営業利益に転じました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、現金及び預金が2,094百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が449百万円、棚卸資産が662百万円、投資有価証券が1,669百万円増加したことなどにより924百万円増加し、78,728百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、繰延税金負債が379百万円増加したことなどにより507百万円増加し、41,523百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、為替換算調整勘定が463百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が1,106百万円増加したことなどにより417百万円増加し、37,205百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,093百万円減少し、当中間連結会計期間末には6,608百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は301百万円（前年同中間期は2,294百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益593百万円、減価償却費1,527百万円の計上、売上債権の増加655百万円、棚卸資産の増加963百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,735百万円（前年同中間期は1,893百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,732百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は429百万円（前年同中間期は774百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額254百万円、非支配株主への配当金の支払額95百万円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は2025年5月14日開催の取締役会において、株式会社椿本チエインを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（効力発生日：2026年1月1日）を行うことを決議し、2025年6月24日開催の第132期定時株主総会において承認されました。これにより、当社株式は2025年12月29日をもって上場廃止（最終売買日は2025年12月26日）になる予定であるため、2026年3月期の業績予想の発表を控えさせていただきます。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,711	6,616
受取手形、売掛金及び契約資産	12,283	12,732
商品及び製品	5,979	5,644
仕掛品	4,600	5,176
原材料及び貯蔵品	4,150	4,572
その他	2,112	2,253
貸倒引当金	△112	△121
流動資産合計	37,725	36,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,938	6,765
機械装置及び運搬具（純額）	8,526	8,321
土地	4,028	4,161
リース資産（純額）	478	400
建設仮勘定	1,307	1,634
その他（純額）	1,016	1,019
有形固定資産合計	22,295	22,301
無形固定資産		
ソフトウェア	209	193
その他	13	223
無形固定資産合計	222	417
投資その他の資産		
投資有価証券	16,715	18,385
繰延税金資産	324	341
その他	830	753
貸倒引当金	△349	△379
投資その他の資産合計	17,521	19,100
固定資産合計	40,039	41,819
繰延資産		
社債発行費	38	34
繰延資産合計	38	34
資産合計	77,803	78,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,687	7,410
短期借入金	5,451	6,421
リース債務	151	163
未払法人税等	250	310
契約負債	172	244
賞与引当金	524	645
役員賞与引当金	10	—
製品保証引当金	133	113
受注損失引当金	37	17
災害損失引当金	140	91
その他	3,092	3,586
流動負債合計	17,650	19,003
固定負債		
社債	5,700	5,700
長期借入金	12,182	11,056
リース債務	1,102	1,059
繰延税金負債	1,499	1,878
退職給付に係る負債	2,641	2,667
その他	240	158
固定負債合計	23,365	22,520
負債合計	41,016	41,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,536	3,536
資本剰余金	3,273	3,275
利益剰余金	15,105	15,297
自己株式	△622	△616
株主資本合計	21,292	21,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,825	6,932
為替換算調整勘定	3,157	2,694
退職給付に係る調整累計額	447	428
その他の包括利益累計額合計	9,430	10,055
非支配株主持分	6,064	5,656
純資産合計	36,787	37,205
負債純資産合計	77,803	78,728

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	28,726	29,193
売上原価	23,144	23,512
売上総利益	5,581	5,681
販売費及び一般管理費	4,822	4,788
営業利益	759	892
営業外収益		
受取利息	34	21
受取配当金	291	263
持分法による投資利益	69	89
その他	43	103
営業外収益合計	439	477
営業外費用		
支払利息	197	210
為替差損	102	188
その他	58	94
営業外費用合計	359	493
経常利益	839	877
特別利益		
固定資産売却益	6	2
投資有価証券売却益	—	184
特別利益合計	6	186
特別損失		
固定資産売却損	—	6
固定資産除却損	2	9
災害による損失	19	—
経営統合関連費用	—	454
特別損失合計	22	471
税金等調整前中間純利益	822	593
法人税、住民税及び事業税	292	346
法人税等調整額	△157	△123
法人税等合計	134	222
中間純利益	688	370
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	145	△75
親会社株主に帰属する中間純利益	542	446

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	688	370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,840	1,081
為替換算調整勘定	1,076	△704
退職給付に係る調整額	△12	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	31
その他の包括利益合計	△785	388
中間包括利益	△96	759
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△504	1,071
非支配株主に係る中間包括利益	407	△311

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	822	593
減価償却費	1,448	1,527
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15	27
受取利息及び受取配当金	△325	△285
持分法による投資損益 (△は益)	△69	△89
支払利息	197	210
為替差損益 (△は益)	150	62
有形固定資産売却損益 (△は益)	△6	4
売上債権の増減額 (△は増加)	286	△655
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△32	△963
仕入債務の増減額 (△は減少)	△172	△87
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△95	△49
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△184
その他	182	401
小計	2,402	512
利息及び配当金の受取額	355	316
利息の支払額	△195	△210
法人税等の還付額	126	82
法人税等の支払額	△393	△399
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,294	301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	64
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,889	△1,732
有形固定資産の売却による収入	22	3
その他	△27	△71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,893	△1,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	220	559
長期借入金の返済による支出	△525	△553
自己株式の取得による支出	△209	—
配当金の支払額	△155	△254
非支配株主への配当金の支払額	△79	△95
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△6	—
その他	△18	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△774	△429
現金及び現金同等物に係る換算差額	313	△230
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△60	△2,093
現金及び現金同等物の期首残高	8,270	8,702
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,210	6,608

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損 益計算書計 上額(注) 3
	二輪部品 事業	自動車部品 事業	産機事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,130	2,757	6,885	24,773	3,953	28,726	—	28,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,173	1,173	△1,173	—
計	15,130	2,757	6,885	24,773	5,127	29,900	△1,173	28,726
セグメント利益又は損 失(△)	992	108	△242	857	△65	791	△31	759

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉機器、石油製品、鋼材等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△31百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損 益計算書計 上額(注) 3
	二輪部品 事業	自動車部品 事業	産機事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,853	2,536	6,548	24,938	4,255	29,193	—	29,193
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,291	1,291	△1,291	—
計	15,853	2,536	6,548	24,938	5,546	30,485	△1,291	29,193
セグメント利益又は損 失(△)	1,234	△164	△319	749	159	909	△16	892

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉機器、石油製品、鋼材等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△16百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当中間連結会計期間より報告セグメントを従来の地域を基礎とした、「日本」、「アジア」、「北米」、「南米」及び「欧州」から、事業別の「二輪部品事業」、「自動車部品事業」、「産機事業」及び「その他」へ変更いたしました。この変更は、取締役会等での経営判断や損益管理、業績の把握・開示を事業単位で行うことが経営実態に即していると判断したためであります。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、区分変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを開示しております。